

I 尾瀬高校の目指すもの

1 校 訓

けんきょ
謙虚

こつき
克己

あいきょう
愛郷

とうとう
滔滔

2 教育目標

- (1) 自他を敬愛し、謙虚な気風を養う
- (2) たくましい気魄と強い意志を養う
- (3) 郷土を愛する精神を養う
- (4) 滔々と流れるがごとく、豊かな知性と創造力を養う

3 教育方針

(1) 生徒一人一人の個性や能力・適性等に応じた「きめ細やかな」教育

- ① 基礎的・基本的な知識・技能の習得とそれを活用する思考力・判断力・表現力等の育成のバランスを重視し、自ら学び、考え、判断できる能力を育成する。
 - 習熟度別学習や少人数指導を取り入れ、一人一人に目を配り、生徒が主体的、協働的に学習に取り組み、自ら進んで学習する習慣を育てます。
 - 授業始業前に朝読書を行い、読書習慣の定着及び個々の生徒の興味・関心の拡大、深化を図ります。
- ② 主体的、対話的で深い学びが実践されるよう計画的な授業改善を行い、生徒の積極的な授業参加を促し、充実感や達成感を持たせる中で自信や意欲を育成する。
 - 発見・体験・課題解決型学習やデジタル教材を多く取り入れた授業で、生徒の興味・関心を引き出し、意欲的に授業参加する習慣を育てます。
 - シラバスを活用し、計画的な学習指導を実践します。外部機関と連携した校内研修を実施し、授業改善に努めます。
- ③ 日常の礼儀・挨拶指導や清掃指導、部活動、学校行事など、学校生活全般に積極的に取り組ませることで、生徒の個性の伸長と調和のとれた豊かな人間性、社会性を育成する。
 - 学校生活のあらゆる機会を利活用し、生徒の育成を行います。生徒の日々の変化、成長を促す中で個性の伸長、豊かな人間性を育てます。
 - 部活動の活性化や学校行事等の充実を図り、仲間と切磋琢磨し、協力する楽しさや仲間を大切にすることを育成します。
- ④ 体験的な学習活動を多く取り入れ、地域行事等への積極的な参加を促す。多くの方々から認められる体験を通して、自己肯定感や自他を大切にすることを育成する。
 - 地域の小中学生、住民の方々と積極的に交流する中で、自らの個性、能力に気づかせ、自尊感情、協調性を育成します。
 - 地域の自然、住民に対する愛情を育成し、母校への帰属意識を高める中で、愛郷の精神を育成します。

- ⑤ 関係外部機関や地域との連携を図り、学科の特色や個々の生徒の状況に応じた体験的、自発的な活動を取り入れた計画的なキャリア教育を推進し、望ましい職業観や勤労観を育成する。併せて地域のために貢献できる生徒を育成します。
 - 生徒一人一人の夢や希望の育成を図るため、計画的な進路指導、外部講師の招聘、インターンシップを推進します。
 - 生徒一人一人の進路希望を実現するため、個別指導の充実を図ります。資格取得の奨励、進学補習の実施、企業見学や学校見学の推進を図ります。
- ⑥ 特別な支援が必要な生徒、個別の高い目標を持つ生徒に対し、全職員の共通理解の元、校内支援体制を構築し、個々の生徒の状況に応じた指導の充実、連携に努める。
 - 外部機関との連携を密に図り、生徒の状況把握に努め、職員全員に共通理解を促し、一致した指導を行います。
 - 学級担任、教科担任、養護教諭、スクールカウンセラーを中心とした校内支援体制を構築し、個別指導計画を作成します。

(2) 生徒の「安心」「安全」「安定」に配慮した教育

- ① 生徒が安心、安全に学校生活を送るため、いじめ、体罰のない明るく落ち着いた校内環境を構築する。生徒の家庭環境や通学状況などにも配慮し、本校だからできる一人一人に目の行き届いた教育を実践し、安定した学校生活を実現する。
 - 学級担任、教科担任、部活動顧問など、個々の生徒が関わる職員が常に情報交換を行い、変化やサインを見逃がさず、早期の指導を行います。
- ② 生徒の心身の状況、指導経緯などをよく勘案し、安全を第一に考えた対応を行う。また、生徒自身はその状況に応じて適切な行動がとれるような、防災・危機対応能力の育成を図る。
 - 中学校の職員や保護者と連携し、個々の生徒の状況把握に努めます。定期的に行う交通安全教育、防災教育は元より、日々の指導の充実に努めます。
- ③ 生徒が自分自身の心身の発達や健康状態及び食生活に関心を持つとともに、健康の保持増進に努め、自律的な高校生活を送れるよう自己管理能力の育成を図る。
 - 学校での健康診断結果や体力テストなど、自己の状況把握と健康に関心を持たせるとともに、生涯を通じた健康維持や食生活の重要性を指導します。
- ④ 定期的な校内の安全点検、施設整備を行い、危険を未然に防ぐ。生徒へは校内美化を推進し、自ら落ち着いた環境作りを心がけるとともに、豊かな感性の醸成に努める。
 - 生徒一人一人が安全で清潔な環境作りができるよう、日々指導します。

(3) 地域・保護者・生徒から信頼される学校運営

- ① 「連携型中高一貫教育」の取組の工夫・改善、一層の充実を図り、連携中からの信頼を得る。
 - 生徒間の交流を中心に、連携中との協力体制を構築します。
- ② 学校開放や情報発信、地域への協力活動等により地域貢献に努める。
 - Webページや尾瀬高通信の充実を図るとともに、生徒の活動や活躍を関連媒体に積極的に情報発信します。
- ③ 活気あふれる尾瀬高校を実現し、地域のために貢献出来る生徒を育成する。全職員が積極的に尾瀬高校の広報活動を行い、自らが誇りを持ち、学校運営に当たる。
 - 職員一人一人が尾瀬高校に誇りを持ち、尾瀬高校を高く評価してもらえよう学校運営にあたります。
- ④ 教育公務員としての自覚を持ち、法令や服務規律の遵守を徹底する。
 - 生徒、保護者、地域の方々から信頼される学校作りを行います。
- ⑤ 県内外から意欲あふれる生徒を広く募集し、育て、尾瀬高校の魅力を内外に伝える。
 - 尾瀬高校ならではの人間育成に自信を持って取り組んでいきます。